

厚生労働科学研究：
**「心肺停止患者に対する心肺蘇生補助装置等を用いた高度救命処置の効果
 と費用に関する多施設共同研究」**
におけるデータ利用について

当救命救急センターでは、標記の厚生労働科学研究に参加しており、心臓の動きが止まり、息をしていない状況の患者さん(心肺停止状態)に対する医療の質を高めるために、患者さんの診療記録のデータを利用させていただいております。

この件に関して、ご質問などございましたら、救命救急センターの受付、あるいは、担当医師までご連絡下さい。

研究の詳細	
研究の目的・意義	この研究の目的は、心肺停止状態の患者さんへの治療として、体外循環による治療の効果を調査することです。この研究によって、心肺停止の状態にある患者さんへの新たな治療方法の確立につながる可能性があります。
研究方法	心肺停止状態の患者さんへの診療記録から収集したデータを分析します。この研究のために特別な薬や治療を用いることはありません
利用させていただくデータ	年齢、性別、身長、体重、診療の経過、受けた治療の内容、治療の結果を利用します。
データ利用の目的	集めたデータは、本研究だけに利用します。他の目的で利用することはありません。
データの取り扱い	データは、鍵のかかる安全な場所に保管します。
個人情報	名前など個人を特定できるデータは利用しません。
結果の公表	研究の結果は、厚生労働省に報告する他、今後の救急医療のため、学会や論文の形で報告します。その際、個人の情報が含まれることはありません。
研究参加に関しまして	この研究にご自身あるいは、ご家族のデータが利用されることにご賛同いただけない場合、いつでも、研究への参加をご辞退していただけます。ご参加いただけない場合も、治療への影響などは一切、ございません。